

大会アピール(案)

世界的な新自由主義・市場原理主義による規制緩和・構造改革の推進は、わが国の経済・社会においても、失業率の上昇や自殺者の増加等をはじめ、人間の営みにおける経済的・社会的な格差問題を引き起こし、将来への不安を増大させています。

こうした時代にあっては、市場や国家のみに頼るのではなく、私たち生協や連帯・協同セクターは、国民の暮らしを支え、社会改革の担い手として重要な役割を果たしていくとともに、広範な人々とのネットワークの力を結集し、国民の共感を呼ぶ社会運動や事業・地域に根ざした顔の見える活動を展開していくことが必要です。

これまでの運動に自信をもって、みんなの思いをひとつにし、連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会に向かって確実な一歩を踏み出しましょう。

1. 食品の安全性確保と食料自給率の向上を求めます

農畜水産業の生産者の経営の悪化・廃業、深刻な後継者・担い手不足など危機的な状況にあります。世界の食料事情が大きく変化する中で、食料自給率向上に向けた生産者支援策が急務の課題です。食品の安全性確保と日本の農畜水産業を守り、地産地消をすすめ食料自給率の向上をはかることを求めます。

2. 灯油の適正価格と安定供給を求めます

灯油価格の値上がりは生産、経営、暮らしを直撃する事態になります。

灯油の適正価格と安定供給を求めます。

3. 地方消費者行政の充実強化を求めます

消費者行政部門を強化し、消費者の自立支援の政策を進めるため、地方消費者行政のさらなる充実強化を求めます。

4. 消費税率引き上げに反対し、食料品を非課税にすることを求めます

ただでさえ厳しい家計状態の中、所得に関係なく同率で課税される消費税は、収入が低いほど負担割合が高くなり家計を圧迫します。さらなる消費税率の引き上げは景気の悪化に拍車をかけることにつながります。今以上の消費税率の引き上げは絶対に行わないこと、そして食料品を非課税にすることを求めます。

5. 誰もが安心して暮らせる社会保障制度を求めます

後期高齢者医療制度について、政府は、75歳以上対象を廃止し、平成25年4月から新たな制度を導入することにしています。また、2004年から毎年引き上げられている年金料率に加えて、今年4月から健康保険料も引き上げられ、収入減の家計をさらに圧迫しています。誰でも平等に必要な給付が受けられ、安心して暮らせる社会保障制度を求めます。

6. 憲法9条を世界の宝として守り、核兵器廃絶を求めます

憲法9条は、世界に誇ることができる「平和のための規範」です。

また、5月にニューヨークで開催された「核不拡散条約(NPT)再検討会議」において、全会一致で採択された最終文書は、「核兵器のない世界」にむけた重要な前進です。憲法9条を世界の宝として守り、核兵器廃絶に向けて具体的な行動を取組むことを求めます。

以上、決議します。

2010年10月27日 第30回福島県生協大会